

私たちは、岡山県北で元気を創造している人を応援しています。

一般財団法人津山慈風会 × インタビュアー【シリウスグループ】
総院長 藤木 茂篤 × イコール株式会社 代表 池田 誠



奇跡の湯 奥津温泉ホテル

米屋倶楽部 奥津

TEL:0868-52-0016 <http://www.komeyaclub-okutsu.jp>



津山の医療を何

とかしたい！

来年3月には最先端の医療施設
が開院しますね。

切らずに治すがん陽子線治療で、
中国・四国地方初になります。地
域の医療レベルを上げるといっ
ことが僕のずっと昔からの思いでし
た。院長をいう立場になると、地
域にどう貢献していくかという事
になっていきます。地域の皆さん
に我々の情報を公開しようと、市
民公開講座も年3回に義務づけま
した。

僕は、病院全体がお金を貯める必
要はないと思っています。
職員には常日頃言っていますが、
正当な方法で正当な収入を得まし
ようと。設備投資をする為にお金
を稼いでいくのは当然の事で、今
回の事業では、今まで貯めてきた
全てを投じています。患者さんを
どう助けるか、ということが僕の

頭の中の全てなんです。ちなみに
院長としての給料は1円も上がっ
ていませんよ(笑)。

藤木院長は内視鏡検査の名医とお
伺っています。

内視鏡検査一筋でした。僕が
津山中央病院へ来た頃は、県北で
は内視鏡専門医は誰もいませんで
した。当時は胃潰瘍で出血したら
すぐに開腹手術だったんです。県
北の皆さんにちゃんとした医療を
提供したいと考えた時、緊急内視
鏡検査を僕が全部やってやろうと
考えました。「365日 時間全部面
倒みるのでなんでも来い！」と。
1年目²⁵件行いましたよ。それ
で津山へ来て1年目で県北のお医
者さんの信頼を得る事ができまし
た。今では、いろんな病院で内視
鏡検査が出来るようになったので、
現在の津山中央病院の緊急内視鏡
の止血術は年間150件くらいです。



院長が医師になろうと思ったとき
っかけは何でしたでしょうか？

僕はサラリーマンの家庭に育ち
ました。兄妹は5人いたのですが
そのうち3人は幼い時に亡くなっ
ています。一人は疫病で亡くなっ

たと聞きました。僕の両親は、自分の子どもを救えなかった医療機関に対して複雑な思いがあったのだと思います。それを聞いた時、僕はまだ小学2年生でしたが「僕、医者になるー」と両親に言いました。そこから大人になるまで一切想いに変化はなかったですね。子どもの頃はさっぱり勉強をしなくて中学に入った時に先生から「今のお前のレベルだと医者は厳しいぞー」と熱心に勉強を教えてもらいましたよ。両親からは「勉強しなさい」と言われた事は一度も無いんですが、健康には気を付けるよう言われました。冷たい物は食べない、お腹を冷やしてはいけないと。だから夏でも腹巻きは必ずしていましたね。

ずっと津山へ帰ってみたいと考えていたんですか？

高校卒業後は、一浪して岐阜大学へ行きました。大学卒業後は、出身が岡山だから帰るのが当たり前くらいに考えて岡山大学へ入局しました。初めは津山に対しての郷土愛というものは感じていなかったんです。しかし、岡山大学で仕事をしているうちに、津山の医療を今後どうしたらいいのか…という思いが強くなっていました。大学から助手の話があった時も「津山に帰らせて下さい」と断ったんです。その後も助手の話があったんですが断りました。多分、後にも先にも岡山大学の歴史の中

で断ったのは僕だけなんじゃないかなと思います(笑)。

院長が考える理想の人財とは？

僕が最も大切にするのはパッション(情熱)ですね。「患者さんに対する思い」「医療に対する思い」「職員に対する思い」「そういうパッションのある人物は、紆余曲折はあっても一人前になってい

くと思います。また、愛社精神を持つという事は大切ですが、それは「誇り」が持てるかどうかという事。誇りが持てるような病院に上層部がしていかなければいけないし、その誇りを作る土壌を作りたいたいとも考えています。僕はいつも「職員の満足があつてこそ、患者の満足・経営の満足に繋がる

職員の満足があつてこそ

患者の満足・経営の満足へ繋がっていく



イコール株式会社 代表 池田 誠

プロフィール

勝山高校卒業後、大阪の旅行社へ就職。数年後旅行社創業。…現在に至る。奥津温泉や湯原温泉を中心に、ホテル旅館業、旅行業、旅館の再生事業をしている。

一般財団法人津山慈風会 総院長

津山中央病院 病院長

藤木 茂篤

プロフィール

1953年生まれ。津山市出身。岐阜大学卒業後、岡山大学入局。

1988年から津山中央病院勤務開始。

2003年副院長となり、2010年総院長として現在に至る。

んだ」と言っています。

それに「僕は常に職員を大切にす
るよ」と伝えていきます。分け隔て
なく挨拶することは人間としての
常識ですし、人生の先輩であるお
年寄りは敬うものだとか小さい頃か
ら学んでいます。僕は昔から外来
には白衣にネクタイは必ずつけて
いますが、それは患者さんに対し
て失礼のないようにするため。若
い医者に強制はしていませんが、
共感してくれる医者もいます。

**院長はかなり温泉には詳しいん
お伺いしています。**

このあたりの温泉だと全て網羅
しています。のどろ温泉天空の湯
は景色が最高で良いですね。あと
は源泉掛け流しの真賀温泉も好き
ですよ。

**カルヴァータの中に天然温泉も
ありますね。**

家族風呂もあって、そこだけ掛
け流しにこだわったんですよ。温
泉は職員の福利厚生の意味もあり
ますが、今後は、時間帯を変更し
て患者さんに解放したいと考えて
います。天然温泉がある病院とし
て、患者さんとご家族とが一緒に
お風呂に入れるようにしていきたい
です。